

3. 里親制度及び広報啓発活動

調査結果の概要

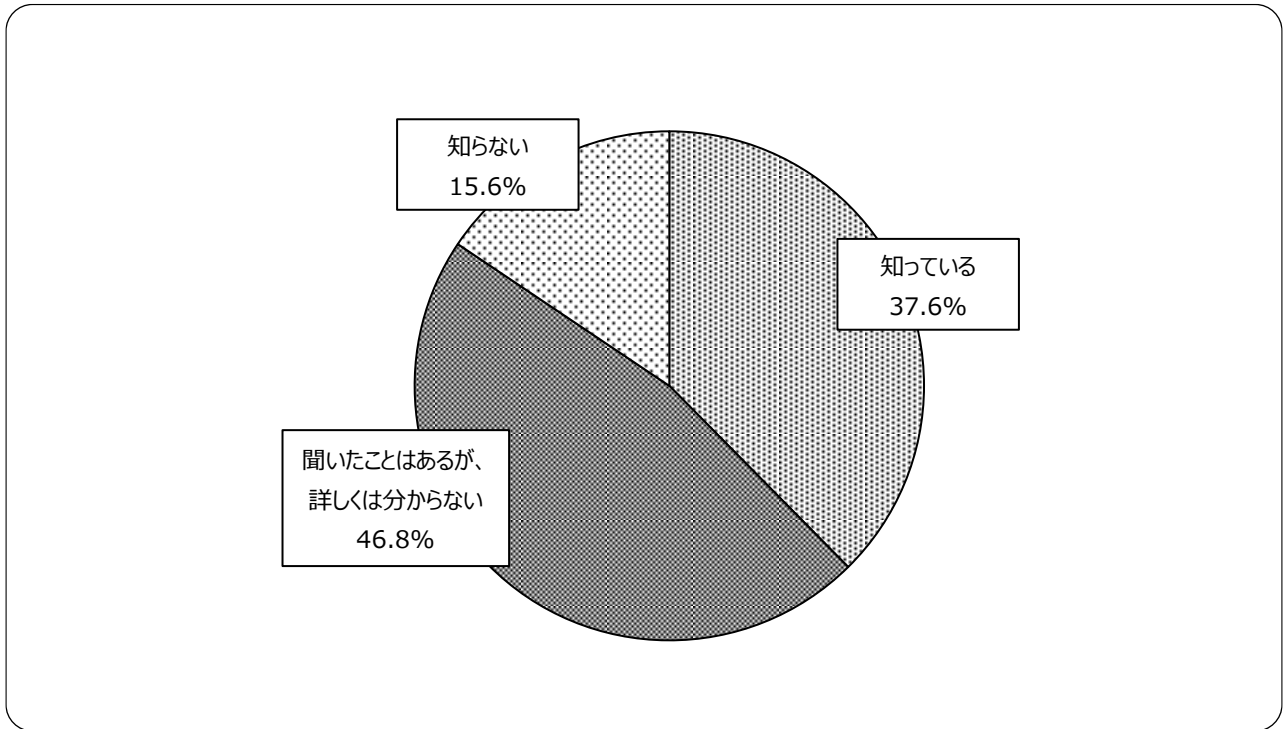
テーマ	里親制度及び広報啓発活動
担当課	こども青少年局 こども青少年育成部 こども家庭課
設問数	8 問
趣旨・目的	今回のアンケートは、市民の皆様に里親制度がどれだけ知られているか、また、里親制度の広報啓発活動についての市民の皆様の意識を調査し、今後の里親制度の啓発、新規里親開拓に活用するものです。
調査結果	各設問のページを御覧ください。
調査結果に係る担当課の所見	<ul style="list-style-type: none">・問 22 では、里親制度を「知っている」と回答した方が、令和 5 年度と比較して 21.8 ポイント減少しました。一方で、「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」と回答した方が 14.3 ポイント増加しました。・問 24 では、里親制度に関する広報・啓発活動に関して、「テレビ・新聞」と回答した方が 18.5%でした。また、「広報さかい」は令和 5 年度と比較して 10.5 ポイント、「市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕」は 11.8 ポイント、それぞれ減少しました。 <p>認知度が低下した要因のひとつとして、「広報さかい」や「市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕」の啓発活動が十分でなかったことが考えられます。</p> <p>今後は、これらの媒体を活用した啓発を強化し、新たな媒体の活用や内容の改善を図り、より効果的な情報発信に取り組めます。</p>

問22. 家庭で暮らせない子どもたちのための里親制度を知っていますか。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は37.6%であり、令和5年度から21.8ポイント減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	176	37.6%
2	聞いたことはあるが、詳しくは分からない	219	46.8%
3	知らない	73	15.6%
	計 (回答総数)	468	100.0%



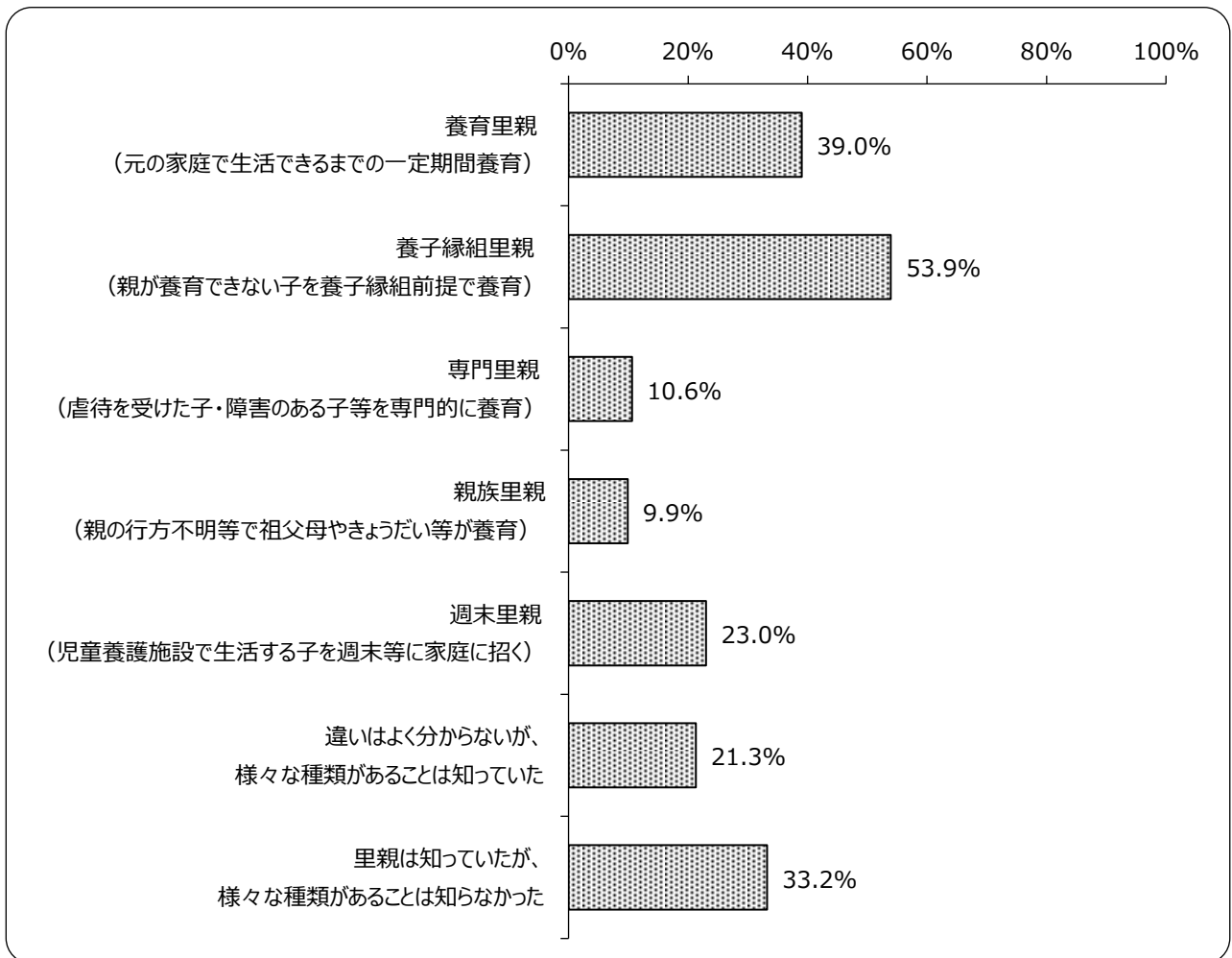
問23. 問22で「1知っている」「2聞いたことはあるが、詳しくはわからない」と回答された方に伺います。

里親には様々な種類があります。知っているものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「違いはよく分からないが、様々な種類があることは知っていた」と回答した方は21.3%であり、令和5年度から13.2ポイント増加した。

	選択項目 (n=395)	回答数	回答数/n
1	養育里親 (元の家で生活できるまでの一定期間養育)	174	39.0%
2	養子縁組里親 (親が養育できない子を養子縁組前提で養育)	285	53.9%
3	専門里親 (虐待を受けた子・障害のある子等を専門的に養育)	257	10.6%
4	親族里親 (親の行方不明等で祖父母やきょうだい等が養育)	194	9.9%
5	週末里親 (児童養護施設で生活する子を週末等に家庭に招く)	123	23.0%
6	違いはよく分からないが、様々な種類があることは知っていた	176	21.3%
7	里親は知っていたが、様々な種類があることは知らなかった	4	33.2%



問24. 問22で「1知っている」「2聞いたことはあるが、詳しくはわからない」と回答された方に伺います。

市内で里親制度に関する広報・啓発活動の中で、実際に見たことがあるものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「テレビ、新聞」と回答した方は18.5%であり、令和5年度から6.0ポイント増加した。また、「広報さかい」は10.5ポイント、「市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕」は11.8ポイント、それぞれ減少した。

	選択項目 (n=395)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	268	67.8%
2	インターネット	16	4.1%
3	ポスターやチラシ	38	9.6%
4	市役所・区役所内でのパネル展等の展示やイベント、懸垂幕	49	12.4%
5	大型ショッピングモール内でのパネル展等の展示やイベント	20	5.1%
6	区民まつり等のイベント内での広報活動	30	7.6%
7	テレビ、新聞	73	18.5%
8	自分や親族・知人が里親になっている	16	4.1%
9	どれも見たことがない	36	9.1%
10	その他	14	3.5%

[2 インターネット]

【主な回答】

- 市ホームページ
- 民間機関のホームページ
- X (旧 Twitter)
- LINE
- Instagram
- 市議会議員のブログ

[10 その他]

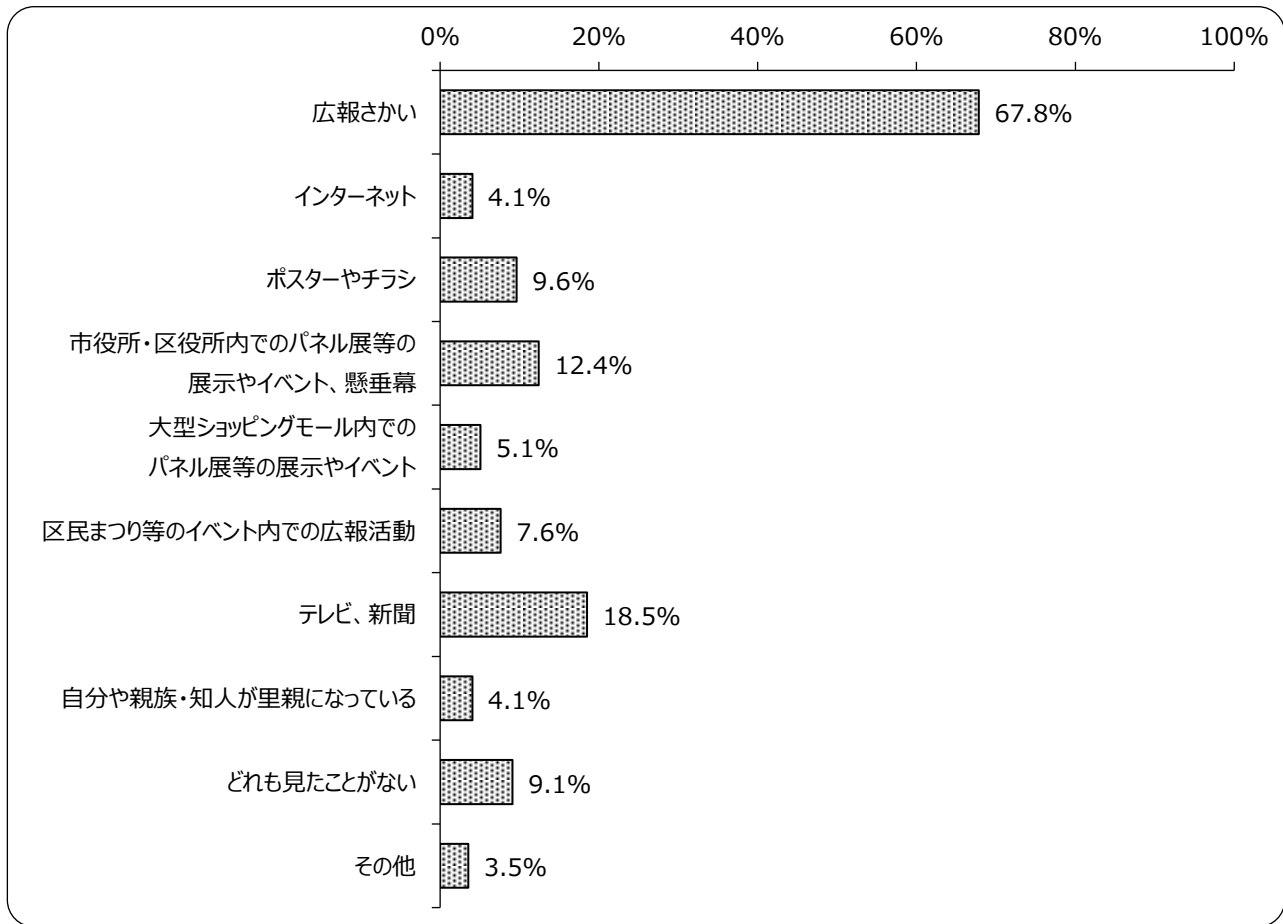
【主な回答】

- 学校
- 講演会
- 児童福祉施設に勤務している
- 講座
- 保育園
- 市議会議員から

[3 ポスターやチラシ]

【主な回答】

- 市役所
- 区役所
- 図書館
- スーパー
- 商業施設
- 公共交通機関
- マンション内
- 子育て広場
- 病院
- 郵便局
- 堺市総合福祉会館
- 民生委員児童委員連合会の資料
- 児童養護施設



問25 もし、あなたが里親になるとしたら、何が必要だと思いますか。

【複数選択可：いつでも】

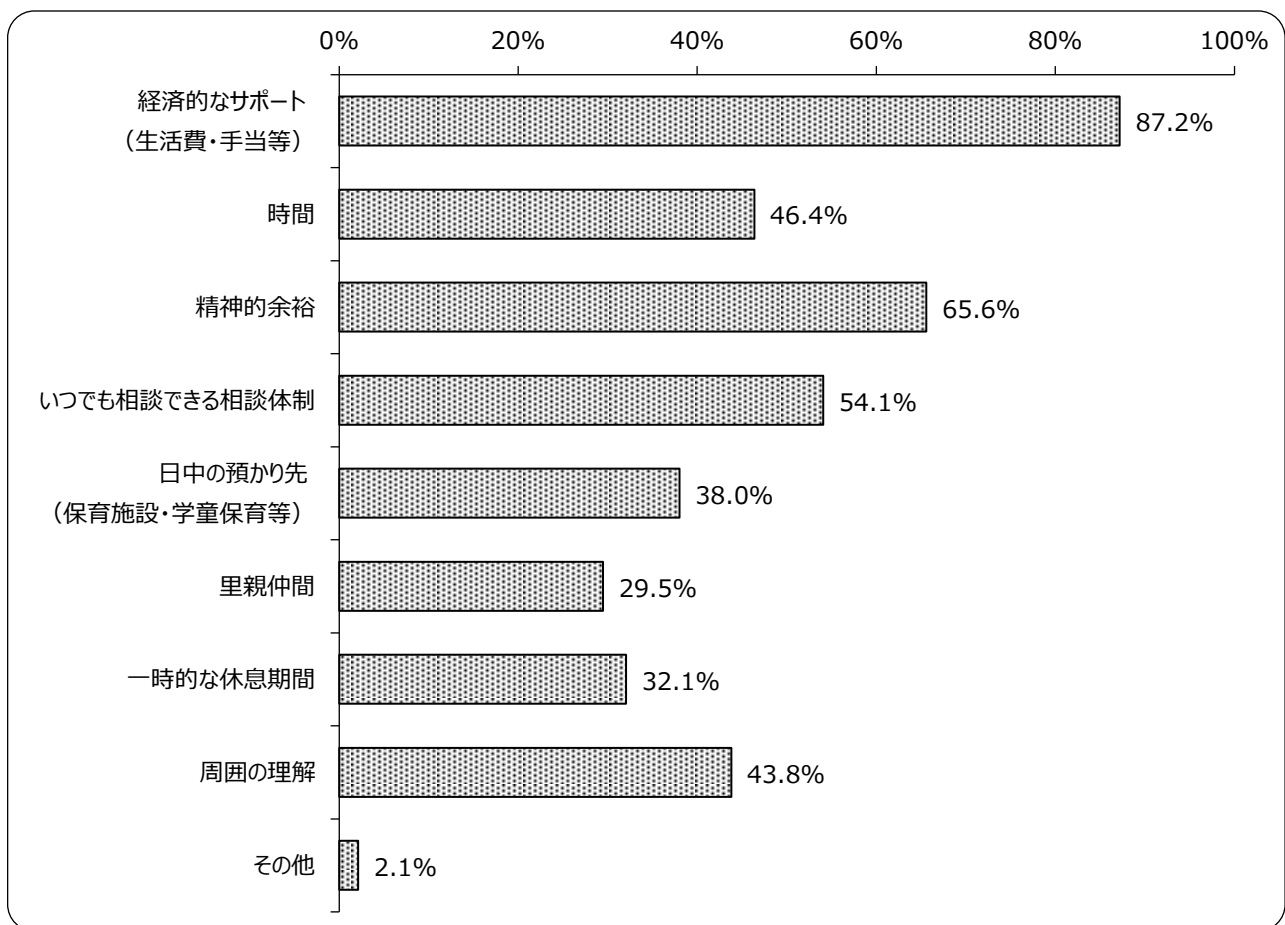
「経済的なサポート（生活費・手当等）」と回答した方は、87.2%であり、令和5年度から6.3ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	経済的なサポート（生活費・手当等）	408	87.2%
2	時間	217	46.4%
3	精神的余裕	307	65.6%
4	いつでも相談できる相談体制	253	54.1%
5	日中の預かり先（保育施設・学童保育等）	178	38.0%
6	里親仲間	138	29.5%
7	一時的な休息期間	150	32.1%
8	周囲の理解	205	43.8%
9	その他	10	2.1%

[9 その他]

【主な回答】

- 居住空間
- 体力
- 勤労する母親への理解
- 行政のサポート
- 里親制度や養育に関する基本と実践の学べる場
- 里親制度に関する知識



問26. 里親になることへの意向について伺います。

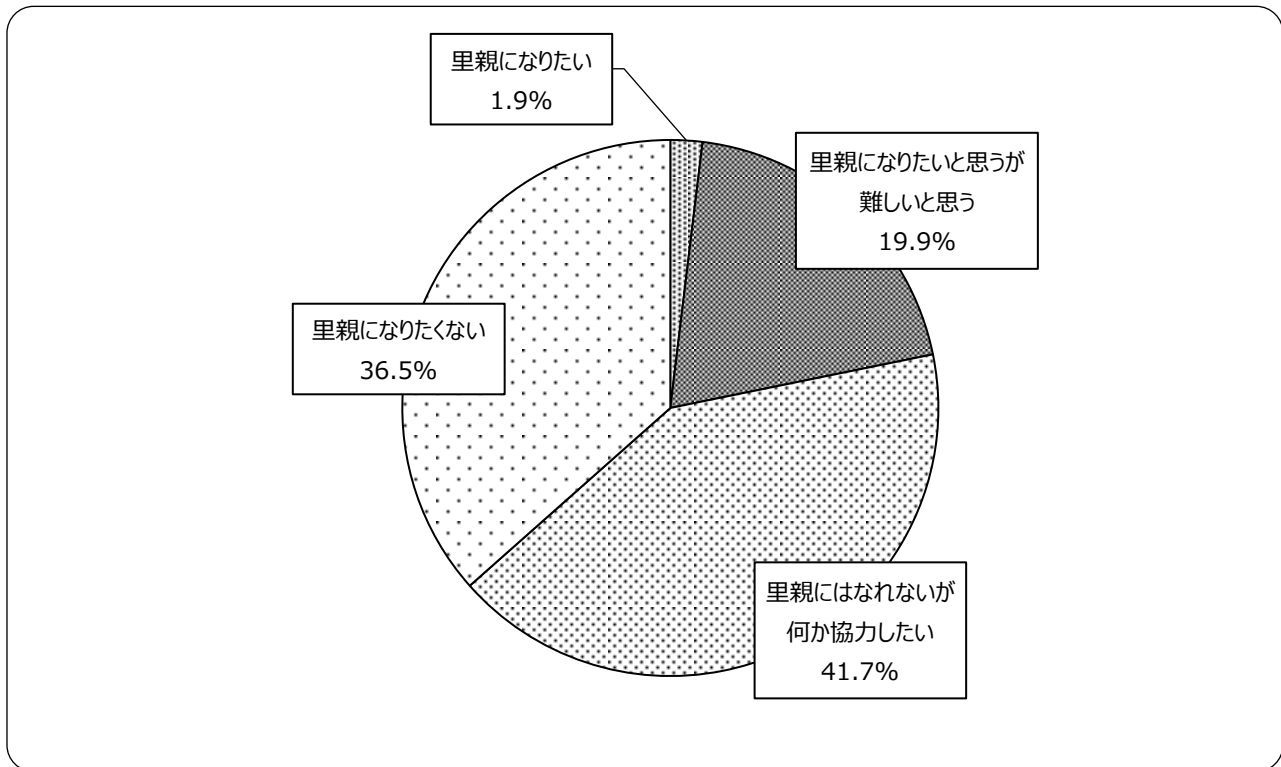
里親になりたいと思いますか。

なお、回答された市政モニターの方に直接、里親になることを依頼するものではありません。

【1つ選択】

「里親になりたい」「里親になりたいと思うが難しいと思う」と回答した方の合計は21.8%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	里親になりたい	9	1.9%
2	里親になりたいと思うが難しいと思う	93	19.9%
3	里親にはなれないが何か協力したい	195	41.7%
4	里親になりたくない	171	36.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問27. 問26で「1里親になりたい」と回答された方に伺います。

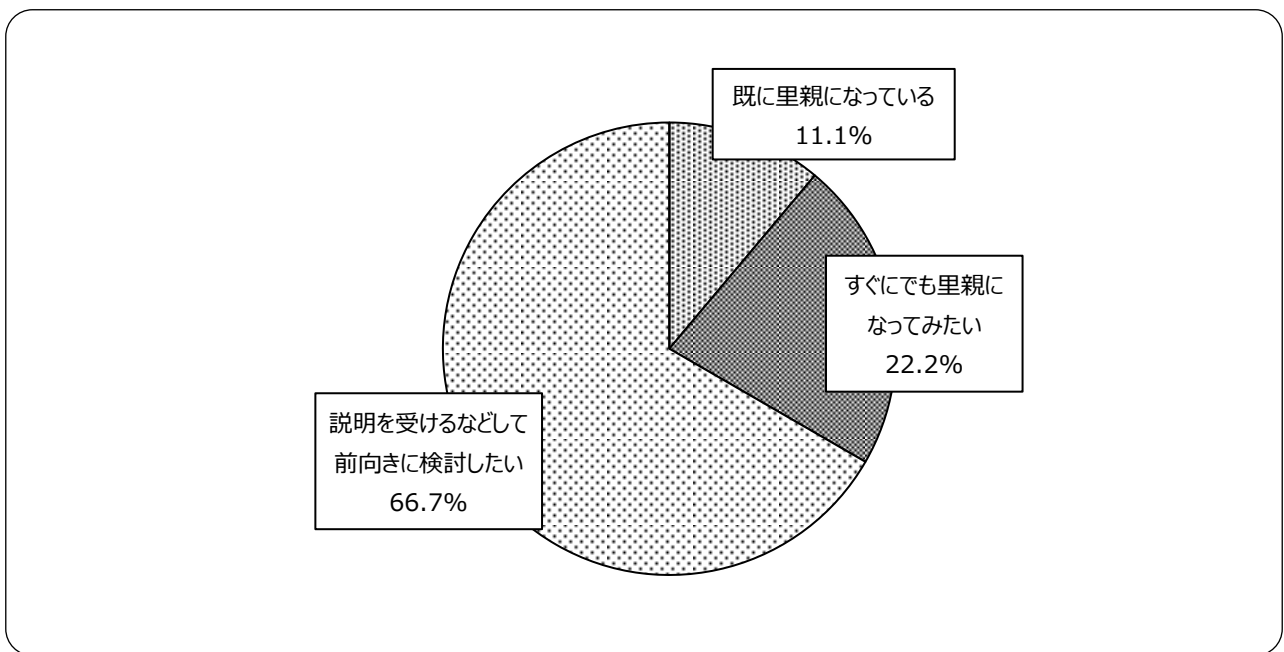
里親になることへの意向はどれに当てはまりますか。

なお、回答された市政モニターの方に直接、里親になることを依頼するものではありません。

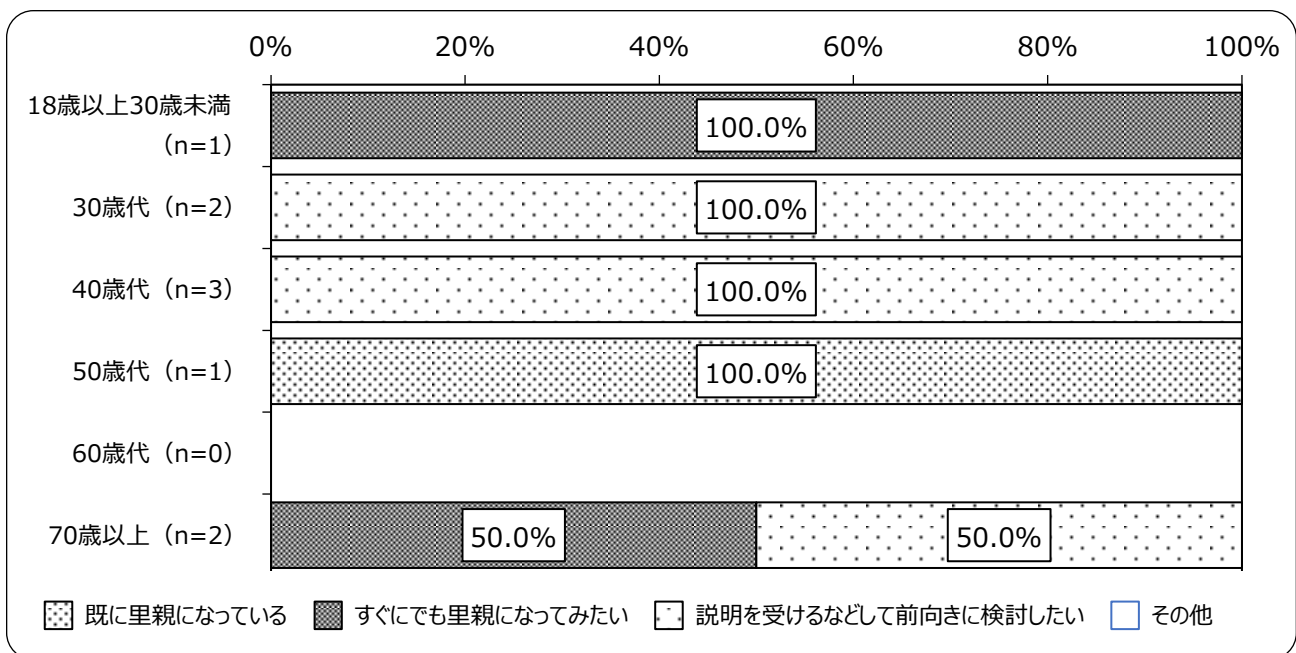
【1つ選択】

「すぐにでも里親になってみたい」「説明を受けるなどして前向きに検討したい」と回答した方の合計は88.9%であった。また、年齢層別の内訳は40歳代が最も多かった。

	選択項目 (n=9)	回答数	構成比
1	既に里親になっている	1	11.1%
2	すぐにでも里親になってみたい	2	22.2%
3	説明を受けるなどして前向きに検討したい	6	66.7%
4	その他	0	0.0%
	計 (回答総数)	9	100.0%



《年齢層別》



問28 問26で「2里親になりたいと思うが難しいと思う」と回答された方に伺います。

難しいと感じる理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

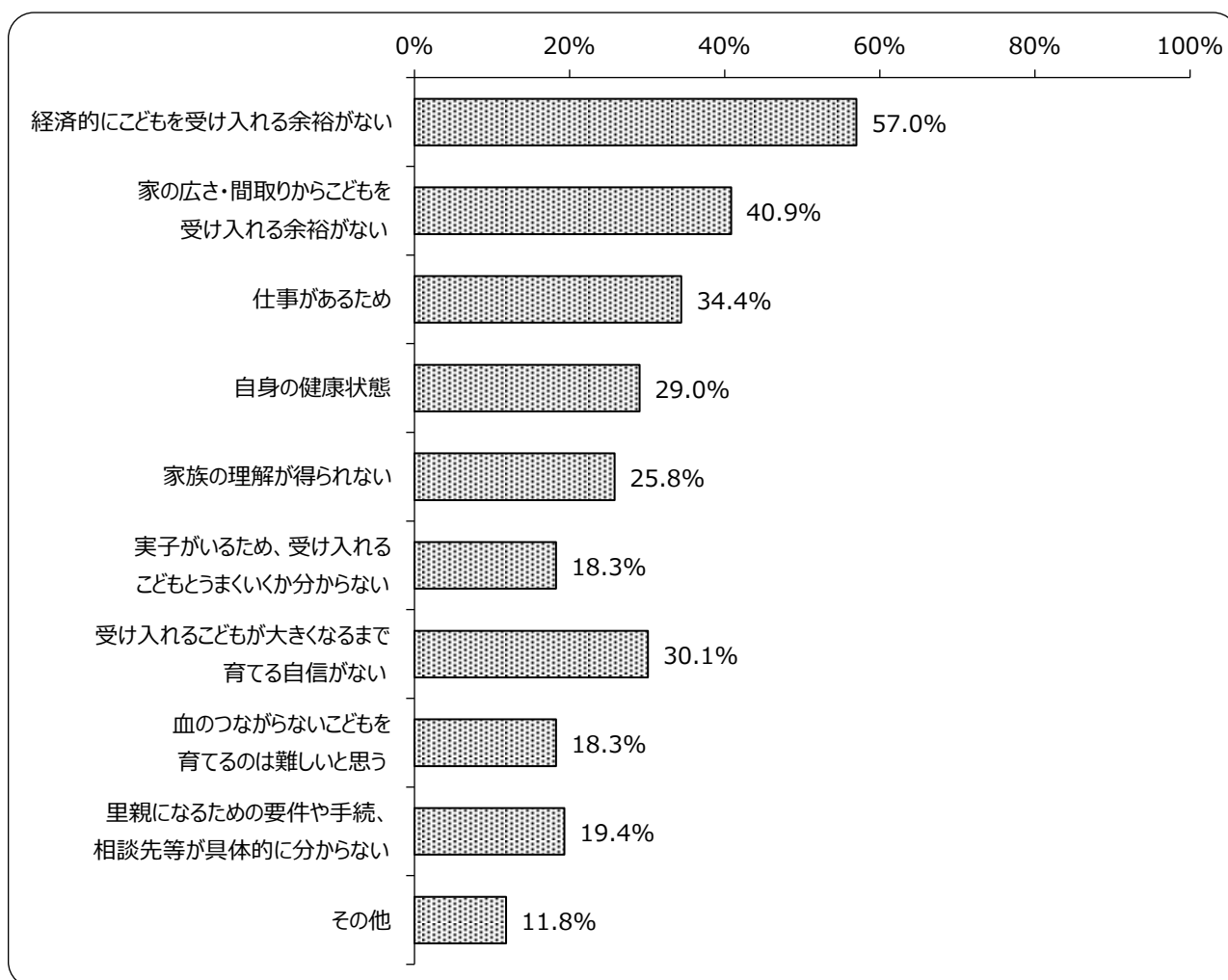
「経済的に子どもを受け入れる余裕がない」と回答した方が57.0%と最も多かった。

	選択項目 (n=93)	回答数	回答数/n
1	経済的に子どもを受け入れる余裕がない	53	57.0%
2	家の広さ・間取りから子どもを受け入れる余裕がない	38	40.9%
3	仕事があるため	32	34.4%
4	自身の健康状態	27	29.0%
5	家族の理解が得られない	24	25.8%
6	実子がいるため、受け入れることもうまくいか分らない	17	18.3%
7	受け入れる子どもが大きくなるまで育てる自信がない	28	30.1%
8	血のつながらない子どもを育てるのは難しいと思う	17	18.3%
9	里親になるための要件や手続、相談先等が具体的に分からない	18	19.4%
10	その他	11	11.8%

[10 その他]

【主な回答】

- 年齢
- 里親から聞く条件等が厳しく思えるため。
- 審査が厳しいため。
- 親として未熟な部分があるため。
- 委託される子どもが家族になじめるか分からないため。
- 養育したい気持ちはあるが、覚悟ができていないため。
- 実子が幼いため。
- 今は実子の子育てで精一杯であるため。



問29 問26で「3里親にはなれないが何か協力したい」と回答された方に伺います。

本市ではより多くの方に里親制度を御理解いただき、また、啓発活動に御協力いただきたいと思います。次のうち、どういった活動であれば、協力できると思いますか。

なお、回答された市政モニターの方に直接、協力を依頼するものではありません。【複数選択可：いくつでも】

「里親について調べる、自身の理解を深める」と回答した方が51.3%と最も多く、次いで「市が発信する情報をシェアする」と回答した方が41.5%であった。

	選択項目 (n=195)	回答数	回答数/n
1	市が発信する情報をシェアする	81	41.5%
2	里親支援機関のSNSをフォロー・「いいね」する	58	29.7%
3	チラシやポスター、啓発カードを設置する	32	16.4%
4	説明会や啓発イベントに会場を提供する	13	6.7%
5	啓発イベントに参加する	45	23.1%
6	イベント等で特技を披露する(例 マジック等)	5	2.6%
7	里親について調べる、自身の理解を深める	100	51.3%
8	その他	3	1.5%

[8 その他]

【主な回答】

- サイズが合わなくなった服等の提供
- 寄附金

